

にいはお

中国語を学ぶ会
平成13年1月発行 第12号
連絡先 0463-33-3177
神山 FAX 32-5594

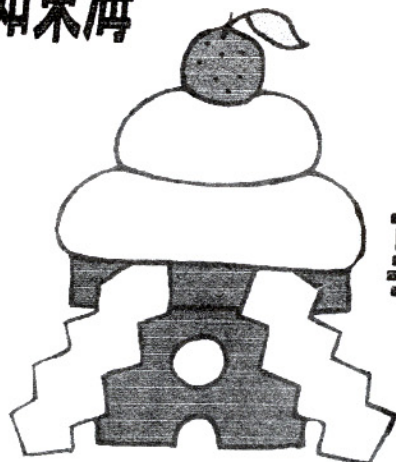
明けましておめでとうございます

新春健康、一帆風順

恭喜发财

健康長寿、福如東海

豊年



事事如意、新年快樂

新世紀の新春を迎え、皆さま方のご健康とお幸せをお祈り申しあげます。

そして、みなさまの中国語学習がますます順調に進みますように、併せて中国語を学ぶ会の発展を祈念いたします。

中国旅游日记

星期三班 額田幸也

我每天都把这次访问中国四个城市(上海, 苏州, 无锡, 南京)的印象写在日记里。下面是其中的一小部分。

11月2日 第一天。

飞机下午3点55分起飞, 当天下午6点18分到达上海。在上海吃晚饭后, 直奔苏州。

11月3日 第二天。

首先去虎丘参观。虎丘是苏州名胜之一。导游给我们介绍了古老而雄伟的虎丘塔。这是一座八面七层宝塔。然后我们去太湖乘游船玩儿。

11月4日 第三天。

清晨, 我一边欣赏从电视机里传出来的优雅的中国古典音乐, 一边想着中国的近代化与古代文化完美的结合, 不由得感到惊讶。每天都吃到各地充满特色的料理, 我很满意。尤其是在南京的晚宴, 在有名的大酒楼(夫子庙姑蘇大酒楼), 味道非常好。(还参观了中山陵、明孝陵和长江大桥等地)

11月5日 第四天。(最后一天)

在上海导游给我们介绍了上海人晒衣服的习惯。我一看, 真与日本不同。从这里我也惊奇地感受到现代化的上海与历史悠久的上海的奇妙与和谐搭配。在这次旅行中我尽量使用汉语。导游带头跟我说汉语。其他跟我一起说汉语的中国人都说我的汉语很好, 我有些感到不好意思。我想这是李老师的功劳, 谢谢老师。

今回の中国四都市(上海, 蘇州、無錫、南京)訪問の印象を毎日日記にしました。下記はその一部です。

11月2日 第一日 午後3時55分飛行機で上海に飛び立ち, 同日午後6時18分に到着しました。上海で夕飯を食べてから, 直接蘇州にきました。

11月3日 第二日 先ず虎丘に行きました。虎丘は蘇州の名勝の一つです。引き続きガイドが古い雄大な虎丘の塔を紹介してくれました。これは八面体の七階の塔です。その後太湖へ行って遊覧船に乗りました。

11月4日 第三日 早朝TVから流れてくる優雅な中国の古典音楽を聞くと中国の近代化と古代中国が非の打ちどころない組み合わせに驚きを

感じずにはられませんでした。毎日の食事は各地の特色ある料理で大変満足しました。中でも南京の夜の食事は南京でも有名な大酒楼で, 味もとてもすてきでした。

(その他中山陵, 明孝陵, 長江大橋等を見学しました)

11月5日 第四日(最終日) 上海ではガイドが上海の洗濯の習慣について私たちに説明してくれました。ちょっと見たら, 本当に日本と同じではなかった。ここでもまた現代化の上海と歴史の古い上海の奇妙な組み合わせにおどろかされました。

今回の旅行でできるだけ中国語を使って見ましたが, ガイドさんを始め私とちょっと話した中国人が皆私の中国語が素晴らしいと言ってくれたので少し恥ずかしい気がしました。これも李先生のお蔭と感謝する次第です。



11月3日 太湖の湖畔にて 額田さん

2000年を思い、21世紀に向けて

星期？班 マリア・烏

さて、2000年を振り返って、この一年一体私はなにをなしたか。うーん。中国語には何とか休み休み通ったが、全然上達していない。これもひとえにクラスの方たちの旅行みやげやお菓子を楽しみにに行っているという不純な動機だからだろう。

しかし映画はよく見た。その資金を貯金に回し、その情熱と時間を中国語学習に向けられれば、私はすでに今頃倉持ちの左うちわで、中国語も何の苦もなくしゃべっているであろう。しかしそれも過去仮定法である。

ところで映画の話である。韓国やベトナムとかのアジア映画もハリウッド製と同じ位好きで中国映画も見る。今年見た中国ものは、文革の犠牲になった少女の悲しい物語「シュウシュウの季節」、レスリーチャンさまが出た「追憶の上海」、香港の哀しいロマンチックラブストーリー「ガラスの城」、現代中国の田舎の学校の先生が都会に出て行った自分の生徒をさがしに行く「あの子を探して」（これは良かった、泣ける）ソ連に留学した中国人少女がナチスドイツの将軍にいれずみされちゃうほんとの話「レッドチェリー」（これはとつても見応えあったしおすすめ）、現代香港の猥雑な裏通りに生きる逞しい子どもたち「リトル・チュン」、そして「グリーン・デスティニー」。中国語の題名は全く違うが日本で独自に題名をつけるもんだから、外人と映画の話になるとちょっと困るよね、といつてもそんな機会はあるまいが……

これは「宋家の三姉妹」で長女をやっていたミシェル・ヨーとチョウ・ユンファの秘められた愛と師を殺された復讐談にチャン・ツイイーというかわいくて強い長官の娘と西域の盗賊の頭との許されぬ愛という二つのカップルがグリーンデスティニーという名の剣をめぐる丁丁発止ちゃんちゃんばらばらするアクションなのであるがいやーおもしろい。主演の女優二人がばっしばっしと腕自慢の男達を倒していきながら痛快じゃありませんか。宋家の長女はおとなしそうに見えて机やイスは叩き割る、石の床はぶっ壊す、屋根の上は飛ぶ、もうワイヤーアクション全開である。しかし私は中国語のお勉強に行ったのです、誤解なきよう、といつても最初の数秒であきらめました。だって字幕を追うのに忙しくて、聞き取るひまがないのです。ぐすっ、少し紙上実況してみましよう。

最初ミシエルの所にチョウユンファが来る。ばあやが「シャオチェ、ルームバイライラ」と言った。おお、ミシエルはええ年のようだが独身のお嬢様はええ年でもシャオチェでいいのか。よし、私もこのまま梅干し婆になってもシャオチェか。そしてチョウはここではルームバイという名前か、ライラと言ったぞ、来たか。来来軒の来だぞ、こんな名前中華の店など今時ないぞ、と思つたら何と関内に一軒見つけた、入ったことはことはないが、そういえばおととい入った店の担担めんはスープが実にうまかった、又行きたいもんだのう。おっと映画にもどらねば。

— 人は久しぶりに会つたらしい。ほにやららツェマヤンと言つたぞ、うーん。ど
— うやら「様子はどう」とか聞いているのか。二人は応接間らしき部屋でいすに座ったが向かい合つてでなく並んだいすに隣りあつて座っている、これも文化の違いか。だだっ広い部屋は冬は寒そうだが暖房はどうするのか、部屋にはたくさん漢字の掛け軸のようなものがぶる下がつておる。一体なんと書いてあるのか、そこまで判別できない、商売繁盛家内安全か。しかし目と耳を同時に集中させるのは疲れるな。字幕に専念しよう。というわけですつと話はとんでかわいいチャン・ツイイー（彼女はもうすぐ公開の「初恋のきた道」で主演している、お楽しみに）が盗賊たちに襲われそうになった、その時ハオヤンな頭が丘の上からかっこよく叫んだ。「タシウオダ」おおっ、このタはおんなへんのタだな、「おれの女に手を出すな」ってことですか、そう、これがにんべんの「他」だったらどうなるか。悲恋物語は一転しておかまさん主演一大ゲイワールドとなつてしまう、うわ、違う違う。

しかしいつになったら字幕なしで映画が楽しめるんだろう、とお嘆きの皆さん。大丈夫。この間見た「バトルフィールドアース」で高度な知能を持ったサイクロ星人であるジョン・トラボルタ（略してサイボルタ）は地球人にサイクロ語を教えるために目から直接言語情報を脳に送り込み、地球人ペッパーはその後すぐにぺらぺらとサイクロ語をしゃべつておつた。サイボルタは言語以外にも数学や工学なども全てそうやって直接脳にすごい勢いで流し込む、といつか送り込む、「マトリックス」でもキアヌーが肉体を全く使わず、脳に直接武術をインプットされ、いきなり強くなつたし、もう単語を覚えたり、文法に苦しんだりする事なく、中国語も自然にしゃべれるようになりますよ、皆さん、それまで長生きして下さい。

い やー、映画って本当に面白いですね。これからもたくさん映画を見てお勉強しようと思います。ではまた再見

流れるような彼女の文章、そしてウイットに富んだ語り口、映画にかける彼女の情熱が伝わってきますね。残念ながら仮名をご希望なので執筆者は伏せておきますがまた映画のお話をぜひ聞かせてもらいたいものです。



上海旅行された方には、おなじみの上海名所です。
新聞に載っていたものですが、皆さんで格調高く翻訳して
ください。新しい年もお元気で中国語にお励みください。

池沢 登志美

上海・情

徐子芳

外・

百年洋・外・一・江水入海流
楼影回峰留好梦，人潮逐浪・金秋
黄金・新字，碧水通・旧游
外涛声来日夜，喜看新浦壮・猷

・方明珠塔

擎天明珠耀江浦，月到申城五色・
隔岸楼台商埠近，拍舷江水客心遥
塔・高・青云路，柱根深扎中国潮
壮哉人・第一塔，流千古・云霄

南京路・行街

路・南京第一家，自古商号・繁・
霞・香草地，起雨・杰・葩
南来仙子霓裳舞，北去雄・灯火斜
晴景街・争是好，佳妹・四・花

南浦，・浦大・

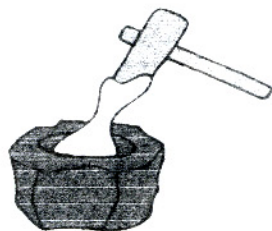
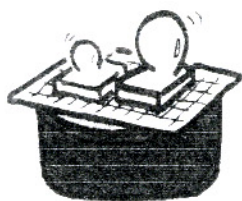
一江・落彩・，好似蟠・巧扮・
海横云天上下，凌霄倒影水中央
已添春色申城半，常待・情浦水双
此日・生百感，江流浩浩・煌

上海で頑張っている池沢さんから電子メールで投稿がありましたので
掲載いたします。なにやら難しそうな詩ですがひとつ翻訳に挑戦してみてください。

池沢登志美さんのアドレスは < t3377@online.sh.cn >

鳥澤さんは < torisawa@uninet.com.cn > です。

興味のある方は送信してみてください。きっとすぐに返信があると思いますヨ。



秩父夜祭

奥秩父の山々に初雪が訪れ、家々の軒先に干し柿がつるされ、色づいた紅葉を木枯らしが一葉二葉と散らしはじめたころ秩父に祭りの季節がやってくる。

秩父夜祭は300年余りの歴史をもつ豪華なお祭りで、毎年12月2日、3日に行われる。秩父市柞（ははそ）の森に鎮座されている総社秩父神社の例大祭が秩父夜祭なのである。

京都祇園祭の山鉾、飛騨高山の屋台とともに日本三大曳山と言われ、国の重要有形文化財に指定されている6台の屋台・笠鉾が勇壮なおはやしを奏でながら街中を曳きまわされる。

かねてから一度見てみたいものだと思っていたのだが、なにせ寒い冬の夜のことだし旅館なども満員で取れそうも無いので見送っていた。10月の末頃だったろうか、偶々新聞の折込で手ごろなツアーを見つけたので近くの友人夫婦と行ってみる事にした。

今は操業を止めている秩父セメントの広大な工場跡が近ツリの専用駐車場となっており、全国各地からの近ツリ観光バスが百四五十台も集まってきた。

数年前、長岡の花火を見に行ったとき自分の乗ってきたバスが見つからずに困っていた高齢者を見かけたことがある。真っ暗な中、他社と混合の駐車場で数百台のバスの中から探し出すのは不可能に近いことだ。

ここではバスに出発地ごとの記号と番号が付いているので駐車場の案内人に尋ねれば自分の車に帰りつくのは容易である。

さて、手始めに秩父神社に参拝しようとしたが人の波に阻まれ前に進むことが出来ない。元日の鎌倉八幡宮と思えばおよその想像がつくだろう。

各地からの観光バスやマイカーが続々とつめかけ道路は大渋滞、車を降りた人達が一斉に会場方面へと歩を進める。

午後の4時だというのに屋台の通る道筋にはダンボールを敷いて座って待っている人達がずらりと並んでいる。屋台の出発は7時半ごろだというから3時間以上は待たなければならないのだ。

古い家並みの間を走るそれほど広くない道路はもちろん車輛通行止め、両側には露店が立ち並びお祭りの雰囲気盛り立てている。露天商は全国を股にかけて商っているわけだからどこの縁日でも見かける風景だ。

地元の商店も店を出してはいるが観光客の財布から出たお金の大半は露天商のふところに納まってしまわないかな。平塚の七夕祭りでも同様の現象がおきており町おこしには余り役にたっていないだろう。

とにかく会場を一巡しようと歩き始めたが人が多くて思うように進めない。人の流れの波に乗って歩くしか仕方がない。

会場のはずれには公設の臨時トイレが設けられているようだが街なかで用をたそうと

してもこの人混みの中ではお手上げだ。ジャンメシンの看板を掲げた店で「トイレ中にあり」と張り紙をして店内にテーブルを置き飲み物を売っている。甘酒 300 円、豚汁 400 円、ワンカップ 500 円。こんなポツタクリでもトイレを借りたい一心で多くの客が入っており結構繁盛していた。かなりの売上になったことだろう。

夜になっても風も吹かず予想していたほど寒くない。防寒コートは手に持ったまま。やがて待望の屋台の曳きまわしが始まった。町内ごとに祭り半纏をまとった若衆たちが威勢良く屋台を引く。極彩色の彫刻で飾られた豪華な屋台が近づくとフラッシュが飛び交う。鉢巻をきりりとしめた若い女性の姿が多い。なかなか格好いいもんだ。道路は狭いしお神輿のように練り歩くわけではないから屋台は観客のすぐ前を思ったより静かに進んで行く。それでも若衆達はかなりのお神酒が入っている様子で二本の綱の引き手たちが掛け声もろとも互いにぶつかり合ったりしてかなりの盛り上がりを見せてくれる。

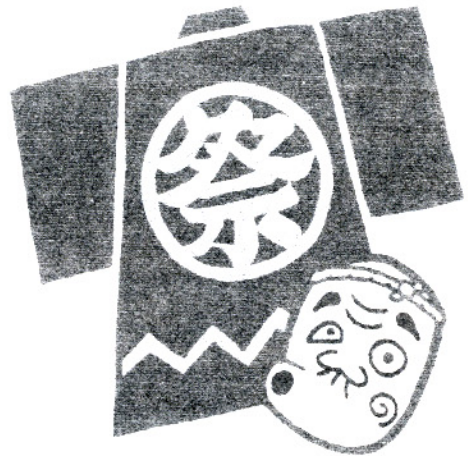
もうこの頃になると全然身動きがとれないくらいに混み合ってくる。終点の御旅所ではなにか神事が行なわれるようだがとてもそんな所に近づくわけにはいかない。満員電車のようにただ人の動きに身をまかせておくほかないのだ。

露店の前には観客の人垣ができて商売は上がったようだ。年に一日だけのお祭りだし、今年はちょうど日曜日にぶつかったので人の出は最高だったようだ。誰がどう調べたのか判らないが翌日の新聞には観覧者は235千人だと載っていた。

やがて最後の屋台が通りすぎるとやっと人垣は散り始める。羊山公園から打ち上げられる花火は間断なくおなかに食い込むような音を響かせている。秩父鉄道の駅前広場には物産店や飲食店が軒を連ね祭りの余韻を楽しむかのように人の群れが膨れ上がる。私も熱燗のワンカップを傾けながら冬空に開く華麗な花を見上げ念願の祭りを見られた幸福感に浸ることができた。

♪秋蚕（あきご）仕舞うて麦播き終えて 秩父夜祭待つばかり（秩父音頭）

神山



「小姐に関する一考察」

星期三班 末岡正敏

「にいはお」11号中、「雑文」と題する文の後方に書かれている「…皆さんのお考えを聞かせて…」に応じ、駄文を投稿します。

声調表記の前提

声調を知り得る最善の方法として、私達は一般に中国人に尋ねる外、辞書を調べています。その際声調表記について注意すべきことは、辞書により、声調変化の表記法が異なるという点です。

根拠とする辞書が、どのような基準ないし立場から、声調変化を表記しているか、このことを確認して、声調を知ることが大切です。

1つの文字に元々存在する声調が、次に続く文字の声調のため、或いは逆に、前の文字の声調のために変化することがある訳で、変化しなくとも馴染みにくいのにその上、変化させて発音しなくてはならない等とは、文字を見ることから中国語の学習に入る日本人にとって、大変厄介なことだと感じます。

ある中国語教室の学習会で、ほとんど棒読みに近い声調で——声調の上げ下げを行なわないで、——読む日本人学生には、ほとんど注意・訂正をしない老師が、一字一字声調を、声調訓練時と同じ位、極端にすら感ずる位に声調重視で読む学生には、しばしば訂正・注意している場面に出くわし、とまどった覚えがあります。

その後、棒読みのように聞こえたその学生の声調は、声調訓練時程極端ではないが、全体の朗読の中になめらかに組みこまれているのに気づき、私も真似してみようと思ったことがあります。しかしそうするには、何度も同じ文章を、声調に注意しながら声を出して読み、声調を殊更注意しないで無意識に発音できる位、つまり暗記してしまう位くりかえし読む必要があると悟られ、今はすこしあきらめています。

「你好」は第3声+第3声だから前の第3声は第2声に変調する程度のことなら、無意識に且つ極端にはなくなめらかに発音できるようにはなりませんが……。

さて本題に戻ります。

声調変化のポイント

声調変化のパターンを私なりにまとめてみました。

- a) 「一」、「不」、「七」及び「八」の声調変化
- b) 同じ音節を重ねることによって生じる声調変化
- c) 第3声と第3声が連続することによる声調変化

(1) 前の第3声が第2声に変調するケース

(2) 後の第3声が軽声になるケース
(次の2つのタイプに分かれる)

イ. 哪里型…このタイプは前を第2声のように発音する。

ロ. 姐姐型…前を第3声のまま発音する。

d) その他

辞書による声調表記法

私の手元に今、四種の辞書があります。各辞書の「凡例」ないし「この辞書の使い方」等と称する解説の章を見ると、声調表記につき、全ての辞書が必ずしも同じ基準で記述している訳ではないことが判ります。

尚この駄文に於いては、今後

第一声 (55調、上平、陽平、等とも呼ばれている) → (符号) —

第二声 (35調、下平、陽平等とも呼ばれている) → (符号) /

第三声 (214調、上声等とも呼ばれている) → (符号) ∨

第四声 (51調、去声等とも呼ばれている) → (符号) \

軽声 → (符号) ·

上記のような符号を使うことをお許し下さい。

中日辞典(小学館)には

a) 声調変化は原則として示さず、音節本来の声調で記述した。

したがって表記と実際の発音では違いがある。(実際)

例: 好使 (/ \)
一定 (/ \)

b) ただし同じ音節を重ねることによって生ずる声調変化は実際の変化通りに表記した。

例: 好好儿 慢慢儿
とあります。

日中辞典(岩波)には

a) 声調変化については、yi (一) と bu (不) は実際の発音に即して変調させた。

例: yìshēng (一生) yìhuí (一回)
yíqì (一次) búgòu (不够)
とだけ触れられています。

現代汉语词典(商务印书馆)には

a) 条目中の轻声字、注音不标调号、但在注音前加圆点、

如: [便当] biàn · dang
[桌子] zhuō · zi

b) 一般轻读、间或重读的字、注音上标调号、注音前加圆点、

如: [因为] 注作 yīn · wèi, 表示

‘因为’的‘为’字一般轻读、有时也可以读去声。

c) 插入其他成分时、……(くどくどと長く説明が続いていて微細にして複雑な声調変化を表記してある。ここでは省略)

d) 本词典一般不注变调。但是一部分重叠式词、如‘沉甸甸、热腾腾’照实际读法注作。

chéndiāndiān rètengtēng

(筆者註: 甸の本来の声調は(\\)又勝は(/)とあります。)

中国語小辞典(大学書林)には

a) 第三声が重複して、最初の第三声が第二声に変化する場合でも、もとの通りの第三声記号をつけておいた。

例: 寒暑表 hánshǔ biǎo

b) 第三声の声調音節の内、上記の原則以外の場合で、他の声調に変化する場合は、変化した声調記号をつけておいた。

例: 老鼠 láoshǔ とあります。

辞書と対比しながら、代表的な声調変化をする単語が、どのように表記されているか、次に表にして例示します。

即ち辞書により声調表記が異なっているも、実際の声調までもが、幾つもあるとは言えない実例です。

声調表記の例(辞書はどのように声調表記しているか)

No.	単語	元々の声調	日中岩波	中日小学館	現代汉语商务印书馆*	中国語大学書林	実際の発音	備考
1	一定	— \\	/ \\	— \\	— \\	/ \\	/ \\	
2	一起	— V	\\ V	— V	— \\	\\ V	\\ V	
3	不够	\\ \\	/ \\	\\ \\	\\ \\	/ \\	/ \\	
4	不论	\\ \\	/ \\	\\ \\	\\ \\	/ \\	/ \\	
5	好好儿	V V	V V	V —	V —	V —	V —	
6	慢慢儿	\\ \\	\\ \\	\\ —	\\ —	\\ —	\\ —	
7	爸爸	\\ \\	\\ ·	\\ ·	\\ ·	\\ ·	\\ ·	
8	妈妈	— —	— ·	— ·	— ·	— ·	— ·	
9	好久	V V	V V	V V	V V	V V	/ V	
10	勉强	V V	V V	V V	V V	V V	/ V	
11	卵子	V V	V V	V V	V V	V V	/ V	
12	长子	V V	V V	V V	V V	V V	/ V	

13	哪里	V V	V ·	V ·	V ·	/ ·	/ ·	
14	老鼠	V V	V V	V V	V ·	/ ·	/ ·	*表記は lǎo · shǔ
15	鼓捣	V V	V ·	V ·	V ·	/ ·	/ ·	
16	小姐	V V	V V	V ·	V ·	/ ·	/ ·	*表記は xiǎo · jiě
17	奶奶	V V	V ·	V ·	V ·	V ·	V ·	
18	姐姐	V V	V ·	V ·	V ·	V ·	V ·	
19	矮子	V V	V ·	V ·	V ·	V ·	V ·	
20	耳朵	V V	V ·	V ·	V ·	V ·	V ·	

註. 1. 単語は個人の好みで、代表例として選びました。
2. お手元の辞典でお調べになるのも一興かと思えます。

この表に関連させて、先に述べた「声調変化のポイント」につき、少し具体的にみてみます。

a) 「一」、「不」については、その一例を表中に記しました。(表中のNo.1~4) 七(一) → 七月(/ \\) 第四声の前の「七」は、第二声に変わることもある。

八(一) → 八岁(/ \\) 第四声の前の「八」は、第二声に変わることもある。

b) 同じ音節を重ねることによって生ずる変調。

・家族の呼称 例: 弟弟、哥哥、
・子供や動物の愛称、形容詞や動詞の意味を少しやわらかくしたり、誤聞を防いだりするため重ねることが多いようです。この場合、後の音節がしばしば変調します。(No.5~8) (No.17~18)

c) 第三声と第三声が連続する時に生ずる変調

(1) 前の第三声が第二声に変調するケースで、主も多く原則的な声調変化です。(No.9~12)

(2) 「声調変化のポイント」中 d) その他に含めたい変化の1つに、後の音節が何故か(法則不明) 軽声に変わることがあります。

例: 爸爸、葡萄、玻璃、衣服、东西
耳朵、客气、商量等。

このうち、もともとが第三声のものに限りませんが、その軽声の前に第三声が置か

れると、その前の声調にも変化が生ずることがあります。つまり第三声+軽声(元が第三声のものに限る)の時、前の第三声に変調が起きます。その時二種の発音タイプがあります。

イ. 哪里型: 前を第二声に変調する。(No.13~16)

現代汉语词典には「老鼠 lǎo · shǔ」と表記されており、これは「lǎoshu」でも「lǎoshǔ」でもよいことを示します。

同様に「小姐 xiǎo · jiě」は「xiǎo jie」でも「xiǎojiě」でもよい訳です。

ロ. 姐姐型: 前をもともとの第三声で発声する。(No.17~20)

尚、「子」が接尾語として用いられた場合、軽声となります。「子」が接尾語として用いられない時は、第三声です。

接尾語として使われている例
椅子、矮子

接尾語として用いられていない例
卵子、长子、甲子

d) その他

(1) 前述のように後の音節が軽声に変わるケース

(2) 同じ単語が二通りに発声されるケース

声調が異なれば意味も異なる例
「东西 — ·」…物品の意

「东西 — —」…東と西

「兄弟 — \」兄弟の意
 「兄弟 — ・」弟のこと
 同じ意味となる場合の例
 「因为 — \」意味は同じ
 「因为 — ・」
 「错误 \ ・」意味は同じ
 「错误 \ \」
 「学生 / ・」は前に「大」「留」を付
 すと、「大学生 \ / —」「留学生 \
 / —」の様に、「生」が第一声に変調
 します。

さて、「にいはお」11号で提記された問題
 は、前出の記述でほぼ解決したよう
 ですが、最後にまとめて結論としま
 すが、最後にまとめて結論としま

提起されている単語について——結論

「椅子」「子」は接尾語です。表記と

しては「V・」で姐姐型

「耳朵」「朵」が軽声に変わりました。

「V・」で同じく姐姐型。

「姐姐」親族の呼称で重ね型、後の「姐」
 軽声に変わりました。

「V・」型で姐姐の御本尊です。

「小姐」まず、後の「姐」は「V」か「・」
 のいずれかです。「・」の方が優勢
 のようですが、中国の学生がよく使
 っている「現代汉语词典」には、xiao
 jie つまり「姐」は軽声、あると
 きは第三声である、と記載されてい
 るので、どちらも成立するとみなし
 てよいと思われます。

いろいろの資料を総合し「小姐」は、
 表記上「VV」「V・」「/・」の三
 種が存在しその表記の基準からみ
 て、どれも正しい。しかし実際上の
 発声から見れば、第二声+第三声で
 も発声されているようですが、第二
 声+軽声の方がより一般的とみた
 いというのが私の結論です。

尚ここでは、半三声という調値パタ
 ーンについては、無視しました。

以上

編集後記

街には街路樹に飾り付けら
 れた豆電球が寒空に美しく輝
 き、冷え切った景気になんとか
 活を取り戻そうとするかのよう
 に彩りを添えています。

開票結果にもたついたアメリ
 カの大統領選挙もやっとケリが
 つき、日本の国会もどうやら小
 康を保っているようですが、さ
 て新世紀を迎えて私たちの生活
 はどうなるのでしょうか。

中国語を学ぶ会の会員数も4
 月に較べれば若干減少しており
 ますが、各班とも熱気のコもつ
 た学習が続いているようです。
 去る11月にフジTVで放映さ
 れた「小さな留学生」と「若者
 たち」をご覧になった方も多
 いと思いますが、あの中国人留
 学生たちの一途な努力には敬服
 させられます。私たちが彼らに負
 けないように頑張りましょう。



さて、「にいはお」第12号も
 たくさんのご投稿をいただき新
 年にお届けすることができまし
 た。ご協力に感謝を申しあげま
 す。

完成するためには4ページの
 偶数倍の原稿が必要になりま
 す。最終的にどのくらいの原稿
 が集まるか判りませんので、穴
 埋め用にいくつかの文を準備し
 たりしておりますが、なんとか
 まとまった時にはほっといたし
 ます。

次回は4月発行の予定になっ
 ておりますので今のうちから心
 がけていただき3月中旬ころま
 でに是非多くの投稿をお願い
 いたします。

中国語に特に関係のないこと
 でも結構ですから意見や感想・
 体験などの発表の場としてご活
 用ください。

2000.12.18